

愛媛県歴史文化博物館

No.86

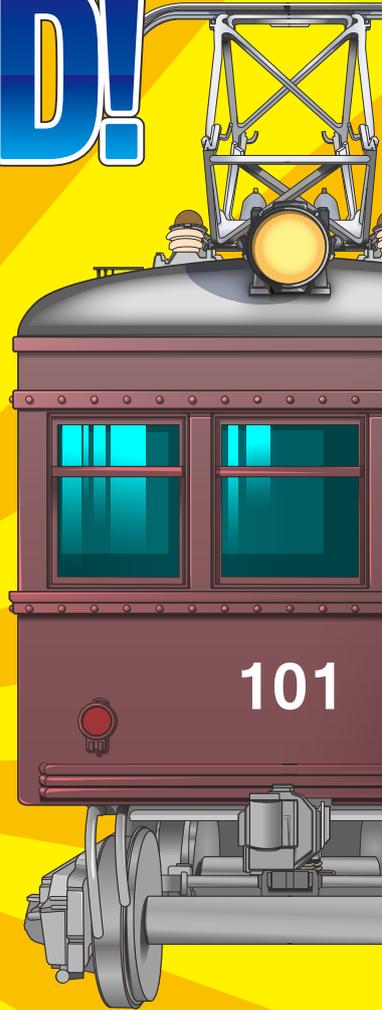
歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

TRAIN WORLD!

ト레인
월드

平成28年 7月16日(土) ▶▶ 8月31日(水)



この夏、
鉄道の世界を楽しもう!

展示室で
坊っちゃん列車が
走るよ!

車両の中にすべり台が・・・!?

ダンボール「しおかぜ」

運転席で
写真を撮ろう!

1/6スケールで復元した坊っちゃん列車が初登場!

出発進行、坊っちゃん列車!

観覧料 大人(高校生以上)550円、小中学生・65歳以上280円

※他にお得な常設・特別展共通券や団体割引(20名以上)もあります。

開館時間 午前9時～午後5時30分(入館は午後5時まで)

※但し、8月13日(土)～15日(月)は、午前9時～午後6時30分(入館は午後6時まで)

休館日 7月19日(火)

協力 西条市教育委員会 四国旅客鉄道株式会社
伊予鉄道株式会社

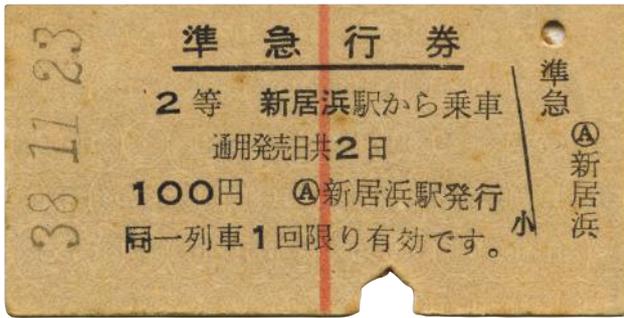
後援 愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・
あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西CATV・
西予CATV・宇和島ケーブルテレビ・FM愛媛・FMがいのや

歴史

準急行券

この2等準急行券は、昭和38年11月23日に新居浜駅で発行されたものです。急行も姿を消した今日、準急といってもご存知ない方もいることでしょう。予讃本線(現予讃線)の歴史を振り返ると、昭和25年に準急「せと」(高松橋本〜松山)が登場し、所要時間を約6時間から約4時間に大幅に短縮しました。その後、昭和36年に急行「四国」(高松〜宇和島)、急行「道後」(高松〜松山)が相次いで登場しますが、まだ便数が少なかったため、30年代までは準急が主流の時代でした。昭和41年に準急「いよ」、「うわじま」などが急行化されるまで、準急は身近な「高速列車」だったのです。

さて、この券には中央に縦の赤線が1本引かれています。無効の印? 見本の印? 実は当時、準急行券には1本、急行券には2本、特急券には3本の赤線が引かれていました。赤線の歴史を大きく述べると、戦前の急行券は乗



年代:昭和38年
サイズ:縦2cm×横5.7cm
所蔵:当館蔵

車距離により、1〜3本の赤い斜線(地帯別赤斜線)が引かれていました。戦後、列車の種類別に斜線(列車種別赤斜線)が引かれるようになり、昭和30年代に入ると、斜線から縦線(列車種別赤縦線)に変化しました。この制度は、昭和41年に廃止されましたが、日付印が薄くなっているにもかかわらず、この年代がわかる目印の1つです。ちなみに、この2等準急行券は100円ですが、当時は乗車距離に関係なく定額でした。

この資料は、7月16日(土)から開催する特別展「TRAIN WORLD」で展示します。ぜひ、ご家族おそろいでお越しください。

(専門学芸員 平井 誠)

民俗

南予山間地域の裂織の仕事着「オリコツツレ」

愛媛県の南予山間地域に位置する西予市野村町惣川(旧野村町)では「オリコツツレ」と呼ばれる裂織の仕事着が使用されていました。裂織とは、経糸に麻・藤・木綿などの丈夫な糸を用い、緯糸に細かく裂いた古木綿布などを使った織物や、その技法をいいます。古布などを再利用した裂織の布地は丈夫で暖かく撥水性もあることから、主に農・山・漁村の仕事着として使用されました。裂織の衣服は主に日本海沿岸地域に分布し、四国地方での事例は大変珍しく、愛媛県佐田岬半島や南予山間地域で確認されています。

オリコツツレの材質は経糸に麻糸、緯糸に古木綿の裂布が用いられ、身頃も袖もすべて裂織でできています。旧所蔵者(昭和2年生まれの男性)への聞き取り調査で、「昭和30年頃まで着用し、冬場にミツマタの皮剥ぎや、物を背負う時などに使用し、新調したものは外出着に用いました。経糸の麻糸は母(明治32年生まれ)が紡ぎ、姉(大正9年生まれ)が高機で織り上げました。自分も手伝いで麻糸を紡いだり古布を裂いたりしました。」とする証言を得ました。本資料は南予山間地域で裂織の仕事着が使用されたことを示す貴重な事例といえます。

(専門学芸員 今村 賢司)



年代:明治時代〜昭和時代
サイズ:身丈76.0cm、ゆき62.0cm、重さ1,380g
所蔵:当館蔵

※本資料は、テーマ展「南予の裂織」(会期:7月16日〜8月31日)で展示します。

特別展

トレイン TRAIN WORLD!

特別展会期中(7/16~8/31)の土・日・祝および夏休みイベント「れきはくこども夏まつり」(8/13~8/15)ではスペシャルなイベントが盛りだくさん。
この夏はれきはくヘレッツ・ゴー!



平成28年7月16日(土)~8月31日(水) 【休館日】
7月19日【火】



TRAIN WORLD! スタンプラリー

展示室をまわってスタンプをあつめよう!

日 時/特別展会期中(7月16日~8月31日ただし7月19日はのぞく) 9:00~17:30(受付は17:00まで)

場 所/愛媛県歴史文化博物館内

参加費/特別・常設展共通券(当日券)が必要です。

特別展
関連
イベント

Nゲージを走らせよう!

特別展「TRAIN WORLD!」関連イベントとして、Nゲージの走行体験を実施します。

事前申込みによる抽選制

各日20名(午前10名・午後10名)

日 時/8月13日(土)~15日(月)

①10:20~11:50 ②13:20~14:50

場 所/エントランスホール

参加費/無料

申込方法/当館ホームページからお申し込みください。

(申込締切日:平成28年7月31日(日))

※抽選結果につきましては、ご当選された方にのみ、当館より連絡させていただきます。



テーマ展

南予の裂織

本展では当館が収集した佐田岬半島と南予山間地域の裂織コレクション(仕事着等)をとりあげ、南予地方の裂織文化について紹介します。また、当館友の会「裂織クラブ」の制作作品もあわせて紹介します。

期 間/7月16日(土)~8月31日(水)

場 所/文書展示室

観覧料/常設展示観覧券が必要



れきはくお化け屋敷 パート7 ~呪われた人形師の家~

夏のれきはく恒例のお化け屋敷第7弾は、身の毛もよだつ“人形”がテーマ!

呪われた人形師の家では何がおこるのか…。(整理券の配布有)

開催日/7月16日~8月31日 ※7月19日は休館日

開 催 時 間	平 日	13:00~16:00
	土・日・祝	10:00~12:00、13:00~16:00
夏休みイベント (8月13日~15日)		10:00~12:00、13:00~17:00

(受付時間は、終了時間の30分前までとさせていただきます)

※午前の部は9:30、午後の部は12:30から整理券を配布させていただきます、無くなり次第当日の受付を終了いたします。あらかじめご了承ください。

場 所/こども歴史館

参加費/特別・常設展共通券(当日券)が必要です。



れきはくこども夏まつり

金魚すくいやスーパーボールすくい、輪投げなどの夜店遊びが体験できるイベントだよ☆

日 時/8月13日(土)~15日(月)

①10:00~12:00

②13:00~16:00

場 所/エントランスホール

参加費/500円(おまつりチケット6枚)

※友の会会員も有料



※個別に表記のないイベントの受付時間は、終了時間の30分前までとさせていただきます。

れきはくのおしあと

れきはくでは、4月23日から6月12日の期間中、特別展「愛媛・お祭り博覧会2016」を開催し、会期中の土曜・日曜・祝日には、各種イベントを実施しました。エントランスホールには実物大の「だんじり」などが展示され、テーマ展「祭礼絵巻―描かれた南予の祭り―」とあわせてお祭り一色のれきはくとなりました。

そして、ゴールデンウィークにはこども歴史館で、毎年恒例の鎧と忍者衣装の着付け体験を実施し、多目的ホールでは忍者ショー「開校!忍術教室」を開催し大変好評でした。5日は特別展関連イベントとして「南予の文楽(人形浄瑠璃)公演」があり、南予地方を代表する郷土芸能を堪能することができました。たくさんのおみなさまのご来館、誠にありがとうございました。



平成28年度 歴史文化講座 上期

歴史講座 13:30~15:00

- 講座番号② 特別展開連講座「国鉄・JR四国の高速度と電化(仮)」
 日 時:7月23日(土)
 講 師:松田 清宏氏(四国旅客鉄道株式会社取締役会長)
- 講座番号③ 特別展開連講座「伊予鉄道発達史(仮)」
 日 時:8月21日(日)
 講 師:中尾 均氏(伊予鉄道株式会社常務取締役)

古文書講座 13:30~15:00

- 講座番号①「新谷領岩谷口村庄屋記録を読む①」
 日 時:6月26日(日)
 講 師:安永 純子(当館専門学芸員)
- 講座番号②「新谷領岩谷口村庄屋記録を読む②」
 日 時:平成28年7月31日(日)
 講 師:安永 純子(当館専門学芸員)

申込方法

希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(体験講座は2週間前)までにハガキなどでお申し込みください。
 ※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。参加費は、昼食代・講師謝金・施設観覧料等の実費です。

お問い合わせ:企画普及グループ・歴史文化講座係
 TEL(0894)62-6222 / FAX(0894)62-6161

考古講座 13:30~15:00

- 講座番号①「鬼北町の考古学事情」
 日 時:8月20日(土)
 講 師:幡上 敬一氏(鬼北町教育委員会)
- 講座番号②「縄文時代の祭祀遺構」
 日 時:9月17日(土)
 講 師:犬飼 徹夫氏(日本考古学協会会員)

体験講座

- 講座番号③「裂き織りでトートバックづくり」
 (定員:各回3名) 日 時:7月18日(月・祝)・8月20日(土) 13:30~15:30
 講 師:宇都宮 美紀(当館専門学芸員)
 参加費:1,000円程度
 対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号④ 特別展開連講座「四国鉄道文化館を訪ねる」
 (定員:25名) 日 時:8月27日(土)
 講 師:松尾 健二氏(四国鉄道文化館館長)
 参加費:4,500円程度
 対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑤ 特別展開連講座「鉄道工作~列車はカーブをどう曲がる?~」
 (定員:20名) 日 時:8月28日(日) 13:30~15:00
 講 師:平井 誠(当館専門学芸員)
 参加費:1,000円程度
 対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴



臨時休館のお知らせ

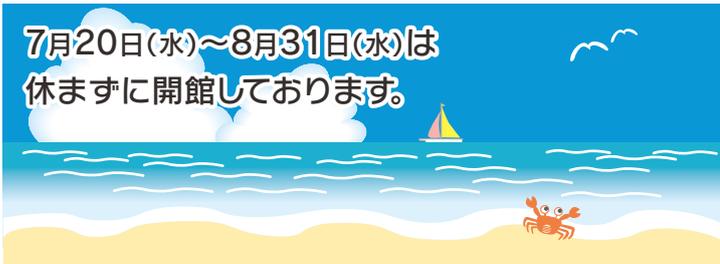
6月14日(火)・15日(水)

博物館では、年に1回、収蔵資料をかびや害虫から守るため、くん蒸(虫・菌の防除)を行っています。



夏休みは毎日開館しています!

7月20日(水)~8月31日(水)は
休まずに開館しております。



ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

	区分	一般	団体
常設展 テーマ展	大人(高校生以上)	510円	410円
	小・中学生	無料	無料
	65歳以上	260円	210円
新常設展	観覧無料		

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。
 ※団体は20名以上です。
 ※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

展示スケジュール

2016.7-2017.3

2016	7	常設展 えひめの歴史と文化	特別展 「TRAIN WORLD!」 7月16日(土)~8月31日(水)
	8		夏休みイベント「れきはくこども夏まつり」 8月13日(土)~8月15日(月)
	9		特別展 「自転車ヒストリー ~夢と希望をペダルにのせて~」 9月17日(土)~11月27日(日)
	10		▶「開館記念イベント」11月12日(土)・13日(日)
	11	新常設展 和紙彫塑による「弘法大師空海」の世界	
	12	密・空と海~内海清美展	▶「新春イベント」平成29年1月2日(月)・3日(火)
2017	1		▶「おひなさまイベント」平成29年2月25日(土)・26日(日)
	2		企画展 「はに坊と行く!えひめの古墳探訪!」 平成29年2月11日(土)~4月9日(日)
	3		

※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Museum Calendar 2016.7-9

7月							8月							9月									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
					1	2	1	2	3	4	5	6											
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10				
10	11	12	13	14	15	16	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17				
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24			
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30							



愛媛県歴史文化博物館
 MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営・指定管理者 いよてつ総合企画

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222

【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成28年6月10日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館